

**警察施設営繕工事等CM（コンストラクション・マネジメント）業務
公募型プロポーザル審査基準**

1 審査基準の位置付け

本基準は、警察施設営繕工事等CM（コンストラクション・マネジメント）業務公募型プロポーザル募集要項（以下「募集要項」という。）に基づき、評価方法及び最優秀提案事業者の選定方法を示すものである。

2 評価方法及び最優秀提案事業者の選定方法

- (1) 参加申込書等評価、業務提案書等評価及び見積金額評価を行い、最優秀提案事業者を選定する。
 - (2) 参加提案書等評価及び見積金額評価は、担当課が提出書類をもとに評価を行う。
 - (3) 業務提案書等評価は、選定委員会が業務提案書、プレゼンテーション及びヒアリングにより評価を行う。
- ※ 業務提案書等評価点について、事情により業務提案書評価当日に、評価を行う委員5名が揃わない場合は1人当たりの持ち点を（5／参加委員数）倍するものとする。
- (4) 選定委員会及び担当課は、評価審査表の各項目について評価を行い、合計評価点を算出し最も高い者を最優秀提案事業者とする。合計評価点と同点の場合は、提案見積金額の低い参加者を最優秀提案事業者とする。合計評価点及び提案見積金額も同点の場合は、業務提案書等の各評価項目について順位を付け最も多く1位を獲得した参加者を最優秀提案事業者とする。それでも評価が同点の場合は、選定委員会で協議し、委員長が決することとする。
 - (5) 合計評価点は満点の6割以上でなければならない。合計評価点がこの基準に達しない場合は、最優秀提案事業者又は次点事業者としない。
 - (6) 参加者が1者の場合についても同様に(1)～(5)、(7)の評価、選定を行う。
 - (7) 各評価項目の評価配点は下表のとおりとする。

評価項目			評価基準		配点
参加申込書等評価	(1) 参加者の評価	ア 有資格者数	有資格者数を評価する。		20
		イ 実績	実績の種類、件数について評価する。		20
		小計①			40
	(2) 担当者の技術力評価	同種・類似業務の実績（実績の有無及び件数、参加立場）	同種業務実績、類似業務実績により評価する。	管理技術者	30
		専門分野の技術者資格	担当分野について、資格の内容を評価する。	主任担当者	30

価		小計②		60
	合計 A（小計①＋②）			100
業 務 実 施 方 針 業 務 提 案 評 価	(1)	【項目 1】 本業務に対する参加者の取組方針と体制	取組意欲の高さや積極性、発注者を支援する姿勢、業務への工夫・配慮について評価する。	75
		【項目 2】 全体工程及び業務上、特に配慮する事項	業務内容、業務の背景や課題などの理解度について評価する。	75
		小計③		150
	(2)	【テーマ 1】 品質・進行管理のポイントについて	品質・スケジュール管理に関する考え方に適格性や、実現性があり、業務に対して理解度の高い提案となっているかについて評価する。	150
		【テーマ 2】 コスト管理の具体的手法について	コスト管理の具体的手法に関する考え方に適格性や、実現性があり、業務に対して理解度の高い提案となっているかについて評価する。	150
		【テーマ 3】 発注者体制の支援方策について	発注者の実施する業務と現状の体制を鑑み、様々な関係者がいる中で、設計業務及び施工業務を円滑に進めていくための手法及び発注者体制の補完の考え方について評価する。	150
		小計④		450
	合計 B（小計③＋④）			600
	見積金額評価（C）		見積金額の配点基準	100
	総合計（合計 A＋B＋C）			800

3 評価項目及び配点基準の明細

(1) 参加申込書等評価

参加申込書等評価審査における審査内容及び配点基準の詳細は、以下のとおりとする

① 参加者の評価 (様式 3、様式 4 による)

参加者の所属する有資格者数及び業務実績について評価を行う。

ア 有資格者数【20点】

有資格者数の評価は下記による。なお、有資格者数はCCMJ又は1級建築士の合計人数とし、両方の資格を有する者は1名として計上する。

評価項目	評価基準		
有資格者数	21名～40名	41名～60名	61名以上
評価点	5	10	20

イ 参加者の同種・類似業務実績【20点】

同種業務（募集要項第8の4(4).③.イ. a参照、以下同じ）及び類似業務（募集要項第8の4(4).③.イ. b参照、以下同じ）の実績について評価を行う。平成26年4月1日以降に発注され、元請け（JVの場合はその構成員）として受託し、参加申込書提出までに完了している業務実績の評価項目に応じた評価点にて評価する。

評価項目	評価基準				
業務実績	類似業務		類似業務・同種業務	同種業務	
	1件	2件	各1件ずつ	1件	2件
評価点	5	10	15	10	20

② 担当者の技術力評価（様式5、様式6）

担当者の専門分野における技術者資格及び業務実績について評価を行う。

ア 管理技術者の同種・類似業務実績【30点】

同種業務及び類似業務の実績についての評価は下記による。なお、平成26年4月1日以降に発注され、元請け（JVの場合はその構成員）として受注し、参加申込書提出までに完了している業務実績の評価項目に応じた評価点にて評価する。

評価項目	評価基準				
業務実績	類似業務		類似業務・同種業務	同種業務	
	1件	2件	各1件ずつ	1件	2件
評価点	5	10	20	15	30

イ 主任担当者の資格【30点：10点×3名】

資格に対する評価は下記による。なお、複数の資格を有する場合は、最も点数の高い資格要件1点を評価対象とする。

評価項目	評価基準		
資格要件	建築設備士	1級建築士	CCMJ
評価点	5	7	10

(2) 業務提案書評価

業務提案書は提案者の名前を伏せた上で、その内容についてのプレゼンテーション及びヒアリングの結果を含め、本基準に基づいて選定委員会が評価し、配点基準の詳細は、以下のとおりとする。

① 業務実施方針【150点（委員1人当たり30点×5名）】（様式8）

評価項目	評価基準	評価点
業務実施方針 【項目1、2】 の提案に対する評価	業務実施方針が極めて優れている	15
	業務実施方針が優れている	12
	業務実施方針が適切である	9
	業務実施方針がやや劣っている	6
	業務実施方針が劣っている	3

② 業務提案【450点（委員1人当たり90点×5名）】（様式9-1, 9-2, 9-3）

評価項目	評価基準	評価点
業務提案 【テーマ1、2、3】 の提案に対する評価	具体的な提案の的確性・実現性が極めて良好である。	30
	具体的な提案の的確性・実現性が良好である。	24
	具体的な提案の的確性・実現性が十分である。	18
	具体的な提案の的確性・実現性がやや不十分である。	12
	具体的な提案の的確性・実現性が不十分である。	6

(3) 見積金額評価（様式10）

見積金額評価における評価基準は、以下のとおりとする。

評価項目	評価基準	評価点
見積金額	100×（最低提案価格／貴社提案価格） ※小数点以下切り捨て	100